

図書館だより

NO. 144 2010年 2月号
(2010年2月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

利用者のみなさまには、ご迷惑をおかけします

<特別整理期間(休館日)>

2月26日(金) ~ 3月5日(金)

☆本の返却は、返却ポスト2ヵ所(図書館入口左と建物裏の駐車場のところ)をご利用ください。

☆CD・ビデオ・DVDは傷みますので、返却ポストへの投函はご遠慮ください。

特別整理期間中は、本の配置場所の見直しや不明本をみつけたす作業などを行います。

はつかいち市民大野図書館は、2月12日(金)~19日(金)
はつかいち市民さいき図書館は、3月2日(火)~5日(金)

.....3月6日(土)は、通常どおり10時から開館します.....

<今月の展示>

<さくらびあ展示>『オペラに行こう!』

2月6日(土)に、さくらびあ市民オペラ第12回コンサートが開催されます。「オペラ」をわかりやすく紹介した本を展示します。

<中央展示>『文学賞受賞作品』

芥川賞・直木賞などの文学賞受賞作品をリストとともに展示します。時代背景を映し出した本や、懐かしい名作に出会ってみませんか?

<児童展示>『アジアの国からこんにちは』

アジアには日本の他にも30カ国以上の国があり、その歴史や暮らしも多種多様です。今月はその中からアジアの民話を中心に絵本を集めています。

<テーマ展示>『トラが登場する本』

今年の干支にちなんで、トラが登場する本を集めて展示します。

ヤングアダルト新着情報

『18歳のハローワーク』

18歳のハローワーク制作プロジェクト／編著
ゴマブックス株式会社 366.2/シ
深刻な格差社会が訪れている現在、自分にはどんな仕事が向いていて、自分はどんな仕事をすれば幸せになれるのか、迷わない人はいないでしょう。その答えを手に入れるには、自分で真正面から仕事探しをしていくより他に見つける方法はありません。18歳という分岐点が、もしかするとその良い機会なのかもしれません。本書ではどんな仕事があって、どうすればその仕事に就けるのか、約300種類以上の仕事を幅広く紹介しています。この機会に、自分の将来について、見つめ直してみませんか。

『とむらう女』

ロレッタ・エルスワース／著 代田亜香子／訳
国土社 933/E
母の死が受け入れられない11才のイーヴィ。世話をしにやってきた伯母に対し、幼い妹はすぐになつすが、反発し続ける。伯母の仕事は、死んだ人を清めて埋葬準備をする「おとむらい師」だった。得体の知れない世襲の仕事に嫌悪感と不安を覚えるイーヴィだったが、決しておしつけない伯母に、次第に心が変化する。おとむらいを通して「死」と正面から向きあうことで「生」の喜びを見い出し、母の死を乗り越える。19世紀半ばのアメリカの大草原を舞台にした、少女の成長を綴った物語。

郷土資料紹介

熱脚～佐北駅伝50年～

佐北駅伝50年史編集委員会／編
H782.3/ネ 2002年

佐北駅伝第50回大会（平成13年度）を記念して作った大会記録集です。佐北駅伝は、旧佐伯町時代から続く駅伝大会で昭和28年「第1回 佐伯郡北部十ヶ町村駅伝大会」として始まりました。

「大会記録（第4回～第50回）」「大会の軌跡」「私と佐北駅伝大会」からなる本書は、佐北駅伝の歴史がつぶさにわかる内容となっています。

選手としてスタッフとして佐北駅伝に携わってきた人たちの寄稿から、駅伝に込めた地域の思いを知ることができます。そして当時の写真からは、地域住民あがての温かい支援や沿道からの熱い声援の様子が伝わってきます。伝統ある佐北駅伝は、地域の人たちが守り育ててきた「地域の絆の結晶」であることを感じとってほしい、そんな1冊です。

廿日市市に關係する資料は、一番奥の「N」の棚にあります。ラベルに「H」という記号がついています。

<今月の新着(一般書)>

図書館には1カ月に約600冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

- 『革命をプロデュースした日本人』 小坂文乃/著 講談社 289.1/ウ
- 『排除と差別の社会学』 好井裕明/著 有斐閣 361.8/ハ
- 『おうちで楽しむにほんの習わし』 広田千悦子/著 技術評論社 382.1/ヒ
- 『科学のニュースが面白いほどわかる本』 瀧澤美奈子/著 中経出版 404/タ
- 『文章を書いて脳がいきいき若返る!』 米山公啓/著 日本実業出版社 498.3/チ
- 『最高の断熱・エコ住宅をつくる方法』 西方里見/著 エクスナレッジ 527/ニ
- 『自然農法 わら一本の革命』 福岡正信/著 春秋社 615/フ
- 『旬をおいしく楽しむチーズの事典』 本間るみ子/著 ナツメ社 648.1/ホ
- 『そのままのキミがすき』 木村裕一/作 西村香英/絵 PHP研究所 726.5/ニ
- 『基礎から学ぶ ストレッチング』 谷本道哉ほか/著 ベースボールマガジン社 781.4/キ
- 『あいさつはニーハオ! なんとかかなりそう中国語会話』 西川優子/著 三修社 827.8/ニ
- 『新廃線紀行』 嵐山光三郎/著 光文社 915.6/7
- 『老人賭博』 松尾スズキ/著 文芸春秋 F/マ

新刊

こどものほん

『かあさんをまつゆ』

文 ジャクリン・ウッドソン 絵 E.B.ルイス 訳 さくまゆみこ
光村教育図書 E/ル

世界中の何より私が好き。と何度も言った母さんは、黒人の女でも雇ってくれるからと戦争で人手不足のシカゴへ働きに行きました。おばあちゃんと二人きりで母さんの帰りを待つ間、戦争は終わらず食料は少なくなりました。私は母さんに何度も手紙を書いたけど母さんからは手紙もお金も届きません。ある日母さんから嬉しい手紙が届いて…。冬的情景と共に母を待つ少女の思いが伝わってきます。

『親子で楽しむこどもことわざ塾』

西田知己【著】 明治書院 388/シ

ことわざは、人として生きていくための知恵と教えがギッシリと詰め込まれています。この本は、江戸時代のいろはかるたからとったことわざについて、意味と解説だけではなく、伝統的な逸話や物語にことわざを織り交ぜた例文で使い方を紹介しています。子どもだけでは理解に難しい内容でも、親子で楽しみながらことわざの世界に親しめるようにと工夫されています。

『ジャガイモの花と実』

板倉聖宣 著 藤森知子 絵 仮説社 479/イ

南米のチリの山の中に生えていた雑草にすぎなかったじゃがいもが、世界中で栽培されるようになったのは、ダーウィンの著書に影響を受けたアメリカのパーバンクが種から育て新しい品種を作ったからです。私たちに身近なジャガイモを手がかりにして、自然の仕組みを上手に利用してきた人間の知恵や科学のすばらしさをわかりやすく描いています。68年福音館書店刊の版元、挿絵等を変えた改訂版。

『絵で見るおふろの歴史』

菊地ひと美 講談社 E/キ

おふろのはじまりは、奈良時代のどうくつぶろで、蒸気をおこして汗を流すものでした。お湯につかるおふろが登場したのは平安時代、身分の高い人だけが入れました。庶民が湯に入れるようになったのは、江戸時代中期に湯屋が普及してからです。おふろの歴史だけでなく、生活の変化の歴史も読み取ることができる1冊です。

『すごいブンナちゃんーぼうけんダ・ダーンのひみつのまきー』 いたうひろし 理論社 913/イ

『霧の森となぞの声(こそあとの森の物語10)』 岡田淳 理論社 913/オ

『またまた ぶたのたね』 佐々木マキ 絵本館 E/サ

ミニブックトーク

ふしぎなふしぎな…

本の中で、わくわくドキドキするような体験をしてみませんか？ まずは不思議な世界から…。

狩りをしていたぼくがまぎれ込んだ青いききょう畑。そこで出会った白い子ぎつねを追いかけて行くと、「そめもの、ききょう屋」という小さな店がありました。そこでぼくは子ぎつねが化けた店員にすすめられ、指を青く染めてもらい、その指で窓を作りそのぞいてみると…さて一体何が見えたのでしょうか？ 安房さん独特の不思議な世界に引き込まれ、読み終えるとちょっとせつないファンタジー『きつねの窓』です。

つづいて、孤独な少年ショバンニが友人カムパネラと銀河鉄道に乗り、本当の幸いとは何かを問いながら天上へと旅をする『銀河鉄道の夜』です。次々に現れる不思議な人々を乗せて銀河鉄道は走ります。賢治ワールドにたっぷり浸れる幻想的な物語。

次は世界中の子どもたちに愛されている絵本『かいじゅうたちのいるところ』。いたずらをして放り込まれた寝室から、船に乗って怪獣たちのいるところへ冒険にでたマックス。ドキドキするような迫力ある絵で描かれています。今年の1月には実写の映画も公開され、話題を呼んでいます。

最後は驚くべき能力を持つ生きものの登場です。体をいくつに切られても、そのどれもが元の体になって数が増えてしまう、すごい生きものプラナリアを知っていますか？ その再生のしくみをととも分かりやすく解明し、プラナリアの探し方、飼い方についても書かれています。

『きつねの窓』 作安房直子 絵吉田尚令 ポプラ社 913/ア

『銀河鉄道の夜』 宮沢賢治作 岩波書店 913/ミ

『かいじゅうたちのいるところ』 モーリス・センダックさく じんぐうてるおやく 富山房 E/セ

『切っても切ってもプラナリア』 阿形清和文 土橋とし子絵 岩波書店 483/ア

平成22年度おはなし会日程調整会

はつかいち市民図書館では、毎月第1・3金曜日と第2・4土曜日に「おはなし会」を開催しています。この「おはなし会」は、図書館職員とボランティアが協力して行っているものです。平成22年度の「おはなし会」の日程調整を行いますので、「おはなし会」に興味がある人、学校や地域で活動されている人は、ぜひご参加ください。

日時 平成22年2月24日（水）

10:00～12:00

場所 廿日市市役所7階会議室

内容 平成22年度「おはなし会」の日程調整
図書館職員による新刊児童研究書の紹介
わらべうたのミニ講習会

2月の図書館カレンダー

◎ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児

【時間】1回目 11時～

2回目 11時30分～

※整理券を相談窓口で配布します

☆おはなし会

【対象】幼児～小学校低学年

【時間】11時～

場所は**図書館会議室**です

日	月	火	水	木	金	土
	1 休館	2 休館	3	4	5 ◎	6
7	8 休館	9	10	11	12	13 ☆
14	15 休館	16	17	18	19 ◎	20
21	22 休館	23	24	25	26 休館	27 休館
28 休館						

返却ポストへ投函された本に、予約・リクエストカードを挟んでの申込みは、受け付けていません。ご協力をお願いします。